



【日本の魚図鑑：イワシ】

イワシ(鰯・鰆・鰯)は、魚類ニシン目、ニシン亜目の複数種の小魚の総称である。「イワシ」の語源については諸説ある。陸に揚げるとすぐ弱って腐りやすい魚であることから「よわし」と呼ばれ、そこから変化したとの説(漢字の「鰯」がこれに由来したとする)の他、貴族の食べ物ではない卑しい魚という意味で「いやし」に由来する説など。

イワシは群れで泳ぐ魚である。

先頭となるイワシが道を違え、岩などの障害物に激突すると後ろに続く鰯も障害物に激突し、そのままみんな死んでしまうことが多い。

『ことわざ：鰯の頭も信心から』

節分に用いる柊鰯(ひいらぎいわし)からくることわざ。

イワシの頭のようなつまらないものでも信心(しんじん)する人には尊く思われる。物事をかたくなに信じる人を揶揄するときなどにも使う。

